

Takae
Suzuki

Photo Exhibition

Stone Buddha
Pilgrimage

かどいで
門出手漉き和紙の印画紙が
街道の石仏を語り伝える

— 石仏巡礼 —
鈴木孝枝
写真展

2023 8/19^(土) ~ 10/8^(日)

協賛：新潟フジカラー

これからのアートを創る

NSG 美術館

【利用案内】 開館時間 午前10時30分～午後6時（入館は5時30分まで）

休館日 月曜日 ※祝日または振替休日が月曜日の場合はその翌日

【観覧料】 一般：300円・学生：200円・高校生以下：無料

石仏巡礼

石の仏が田舎の道脇に立っている。

頬に手を当て穏やかな表情のお顔、槍、弓矢、剣など手に持っている仏、男女仲むつまじく寄りそっているもの、それは石であり石でない気をも感じさせる。これを被写体として、カメラに納めてみようと思った。そしてその被写体を求め、人々が永い歴史のなかで行き来した道、「街道」に焦点を絞り、県内の13の街道を選び撮影が始まった。

街道の石仏は庶民の厚い祈りの心によって建立され、様々な石仏が山道や里や辻角に祀られている。その魅力は、その場所に行けば誰でも分け隔てなく礼拝し、鑑賞できることである。その土地の自然の風景の中に存在するありのままの姿を写そうと心がけた。春夏秋冬、巡りゆく季節とともに石仏との出会いは続く。



アクセス

バスで

■新潟駅(万代口)より 新潟交通バス
[1] (C20)『浜浦町経由西部営業所行』
[2] (C21)『浜浦町経由信濃町行』
[3] (C22)『水族館前行』
[1～3]全て
▶「西大畑坂上」下車徒歩5分

■新潟交通バス
「東中通」下車徒歩15分

タクシーで

■新潟駅(万代口)より約15分

徒歩で

■古町十字路より徒歩15分

自動車で

- [1] 日本海東北自動車道新潟亀田ICを下り、柳都大橋経由約25分
- [2] 国道8号線(新潟バイパス)桜木ICを下り、昭和大橋経由約20分
- [3] 国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを下り、柳都大橋経由約20分



NSG美術館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932番地561
TEL:025-378-3773 FAX:025-378-3772
メールアドレス:nsg-artmuseum@nsg.gr.jp
ホームページ: <https://www.nsg-artmuseum.jp>



鈴木孝枝(すずきたかえ) 略歴

- 1946年 新潟県新潟市生まれ。
写真の仕事をしていた父・四平から幼い頃より手ほどきを受ける。
写真家・渡辺義雄、三木淳両先生より指導を受ける。
- 1986年 日本写真家協会会員となる。
- 1988年 写真展「中国・シルクロード」〈新潟大和デパート〉
- 1997年 写真展「紙・神」〈紙の美術館(旧新潟県小国町)〉
- 2001年 NHK文化センター新潟写真教室の講師を務める。
- 2003年 日本夕日写真大賞審査を務める。
- 2005年 十日町市産業振興功労賞を受ける。
- 2006年 長岡市栃尾美術館に手漉き和紙の作品5点収蔵される。
- 2014年 写真展「鈴木孝枝写真展 越後路40年の眼差し」〈長岡市栃尾美術館〉
- 2016年 写真展「越後の石仏」〈フランス・ナント市〉
- 2016年 写真展「鈴木孝枝～越後の石仏と繋いだ絆～」〈知足美術館(新潟市)〉
- 現在：新潟日報カルチャースクール講師